



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月6日

上場会社名 キリンホールディングス株式会社 上場取引所 東・名・札・福
 コード番号 2503 URL <http://www.kirinholdings.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 占二
 問合せ先責任者(役職名) グループコーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 藤原 哲也 (TEL) 03-6837-7015
 ディレクター
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 平成26年9月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	1,056,276	△3.6	50,251	△16.8	45,107	△19.0	14,043	△76.5
25年12月期第2四半期	1,096,214	5.2	60,416	5.6	55,714	12.6	59,668	355.2

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 49,139百万円(△77.6%) 25年12月期第2四半期 219,008百万円(130.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	15.20	15.16
25年12月期第2四半期	62.41	62.40

(参考) 平準化EBITDA 26年12月期第2四半期 1,265億円(△8.9%) 25年12月期第2四半期 1,388億円(4.9%)
 平準化EPS 26年12月期第2四半期 54円(5.9%) 25年12月期第2四半期 51円(13.3%)
 両指標の定義、計算方法等の詳細は、「経営成績に関する説明」2ページをご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	2,795,003	1,309,151	38.7
25年12月期	2,896,456	1,300,726	37.1

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,082,880百万円 25年12月期 1,075,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
26年12月期	—	19.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(参考) 平準化EPSに基づく配当性向(連結) 26年12月期(予想) 29.0%

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,260,000	0.2	140,000	△2.0	122,000	△7.7	49,000	△42.8	53.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) 平準化EBITDA 26年12月期通期(予想) 2,970億円(△1.5%)
 平準化EPS 26年12月期通期(予想) 131円(7.4%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期2Q	965,000,000株	25年12月期	965,000,000株	
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	51,689,604株	25年12月期	35,659,435株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	923,982,865株	25年12月期2Q	956,063,572株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

(2) 決算補足説明資料は本日8月6日(水)に、また、8月7日(木)開催の決算説明会における資料・説明内容(動画)・主な質疑応答については速やかに、当社ホームページに掲載いたします。

(当社ホームページURL)

<http://www.kirinholdings.co.jp/irinfo/event/explain/index.html>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13
(追加情報)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期（平成26年1月1日～平成26年6月30日）における世界経済は、米国の個人消費が堅調に推移したほか、欧州経済は、回復力は弱いものの、上向きの動きが定着してきており、中国も減速感をもちつつも成長を続けるなど、全体としては緩やかな回復が続きました。

わが国経済も緩やかな回復が続き、個人消費も基調的には底堅く推移しましたが、消費税率引き上げの影響により景気の振れが大きくなりました。

キリングroupは、長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2021」（略称：KV2021）実現に向けた最初のステージである「キリングroup2013年～2015年中期経営計画」の2年目として、引き続きキリングroupの「ブランドを基軸とした経営」を展開しながら、各地域統括会社が市場環境に応じた自律的な経営を行いました。

当第2四半期の連結売上高及び連結営業利益は、海外総合飲料事業において増収増益となりましたが、日本総合飲料事業における販売数量の減少、医薬事業における薬価基準引き下げの影響に加え、キリン協和フーズ㈱（現MFCフードスペシャリティーズ㈱、以下同じ）が前年度第3四半期から連結対象外となったこと等の影響もあり、全体では減収減益となりました。連結経常利益も減少し、連結四半期純利益については、フレイザー・アンド・ニーヴ社の株式譲渡によって投資有価証券売却益等を計上した前年同期に比べ、大幅に減少しました。

連結売上高	1兆562億円（前年同期比	3.6%減）
連結営業利益	502億円（前年同期比	16.8%減）
連結経常利益	451億円（前年同期比	19.0%減）
連結第2四半期純利益	140億円（前年同期比	76.5%減）
（参考）		
平準化EBITDA ※	1,265億円（前年同期比	8.9%減）
平準化EPS ※	54円（前年同期比	5.9%増）

※ 平準化：特別損益等の非経常項目を除外し、より実質的な収益力を反映させるための調整

平準化EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法適用関連会社からの受取配当金

平準化EPS = 平準化四半期純利益 / 期中平均株式数

平準化四半期純利益 = 四半期純利益 + のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益

なお、平準化EBITDAは億円未満切捨てで表示しており、平準化EPSは円未満四捨五入により算出しております。

なお、株主還元の更なる充実を図るため、公開買付けの手法により自己株式の取得を実施しました。当社大株主を含めた応募株主から、総額約197億円にて株式総数約1,599万株を5月に取得し、終了しました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

<日本総合飲料事業>

当第2四半期の国内酒類・飲料市場では、4月に実施された消費増税に伴う駆け込み消費及びその反動による需要減が発生しました。これらの環境変化に対応しながら、「ブランドを基軸とした経営」の考え方に基づいた商品ブランド強化、お客様にとっての新しい価値の創造に一貫して注力しました。

キリンビール㈱では、最重点ブランド「キリン一番搾り生ビール」の製法へのこだわりや贅沢さを、様々な顧客接点で訴求しました。一番搾り麦汁と二番搾り麦汁の比較試飲などができる体感型ビアガーデン「キリン一番搾りガーデン Brewery Experience（ブルワリー エクスペリエンス）」を4月から順次展開したほか、6月には、ギフト専用商品として「一番搾り プレミアム」を発売しました。新ジャンル「キリン のどごしく生」では、3月のリニューアルに引き続き、6月には、同ブランド初のエクステンションとなる「キリン のどごしく生 ICE」を発売し、プレゼンスの向上に努めましたが、販売数量は前年を下回りました。市場が拡大しているRTD[※]では、「キリン 氷結」、「キリン 本搾り[®]チューハイ」の販売が好調に推移したほか、6月には、RTDとしては新たな味覚軸となるほろろがい味わいの「キリンチューハイ ビターズ」を発売し、わずか3週間で年間販売目標の約7割を販売しました。

メルシャン㈱では、1月に六本木にオープンしたコンセプトショップ「Château Mercian Tokyo Guest Bar（シヤトー・メルシャン トーキョー・ゲスト・バル）」の来店客数が6月中旬に2万人を突破し、「山梨フェア」等の

イベントを通じて、日本ワイン、「シャトー・メルシャン」ブランドの魅力を発信しました。また、国内で年々市場が拡大しているチリワインのブランド「ラデラ・ヴェルデ」を4月に発売し、ブランドポートフォリオの拡充を図りました。

キリンビバレッジ㈱では、主力ブランド「キリン 午後の紅茶」の販売が堅調だったほか、「キリン ファイア 挽きたて微糖」や「キリン 世界のKitchenから ソルティライチ」が前年の販売数量を上回り引き続き好調だったことなどから清涼飲料全体の販売数量も前年を上回りました。また、4月には、「キリン 生茶」ブランドから、ペットボトル緑茶飲料としては世界初^{※2}となるカフェインゼロの緑茶「キリン やさしさ生茶 カフェインゼロ」を発売し、新たな価値提案を行いました。6月には、「キリン 世界のKitchenから」ブランドから、ほのかに香るフラワーウォーターに炭酸を合わせた無糖炭酸水「キリン 世界のKitchenから Sparkling Water」を発売し、ラインアップを拡充しました。

各社横断的な取組みとしては、4月に、3社の本社物流機能を集約し、キリングループロジスティクス㈱（前キリン物流㈱）へ移管することで、グループ物流の最適化と競争力強化を図ったほか、キリンビール滋賀工場敷地内に、既存のペットボトル製造ラインに加えて、小型ペットボトル商品の新製造ラインを増設したキリンビバレッジ滋賀工場が4月から本格稼働し、総合飲料工場として新たなスタートを切りました。

これらの結果、RTD、ワイン及び清涼飲料の販売数量は前年を上回りましたが、ビール類の販売数量減少の影響が大きく、売上高、営業利益ともに減少しました。

※1 RTD：栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料でReady to Drinkの略です。

※2 株式会社SVPジャパン調べ（2014年2月）

日本総合飲料事業連結売上高	5,305億円（前年同期比	1.5%減）
日本総合飲料事業連結営業利益	139億円（前年同期比	18.1%減）

〈海外総合飲料事業〉

豪州経済は、全体としては緩やかな回復基調が続きましたが、雇用環境の改善が進まず、個人消費は住宅価格上昇等の資産効果を除けば低調に推移し、厳しい市場環境が続きました。

ライオン社酒類事業では、基盤ブランドの強化及び成長カテゴリーでの販売強化を引き続き進めました。縮小が続く豪州ビール市場において、需要期である復活祭に伴う祝日の時期が昨年度と異なり第3四半期となった影響などにより、ビール全体の販売数量は前年を下回りましたが、主力ブランド「フォーエックス・ゴールド」は、販売数量を前年並に維持しました。成長カテゴリーでは、輸入プレミアムビールの販売数量が前年を上回ったほか、「ジェームス・スクワイア」、「リトル・クリーチャーズ」などのクラフトビールの販売が好調に推移しました。同社飲料事業では、「デア」などの乳飲料の販売数量が引き続き前年を上回って推移したものの、果汁飲料、チーズ等の販売数量が前年を下回り、飲料事業全体の販売数量も前年を下回りました。

ブラジル経済は、成長のペースが引き続き緩やかに推移し、酒類・飲料市場も引き続き厳しい競争環境が続きました。

ブラジルキリン社では、強いブランドポートフォリオの構築を推進するとともに、ビール主力ブランド「スキン」のプレゼンス最大化に努めましたが、競合他社との厳しい競争が続き、ビールの販売数量は前年を下回りました。清涼飲料の販売数量も前年を下回りましたが、炭酸飲料の基盤ブランド「スキン」のブランド強化を図るとともに、日本の知見を活用して昨年発売した食物繊維入り炭酸飲料「KIRIN fibz Cola（キリン フィブズ コーラ）」及び「KIRIN fibz Guaraná（キリン フィブズ ガラナ）」の販売地域を拡大しました。

これらの結果、オセアニア総合飲料事業においては、豪州酒類事業が全体をけん引し、為替影響もあり、売上高、営業利益とも増加しました。ブラジルキリン社の販売数量は減少したものの、昨年の値上げ実施による価格上昇効果により、売上高が増加、営業損失は減少し、海外その他総合飲料事業全体も、売上高は増加し、営業損失は減少しました。

オセアニア総合飲料事業連結売上高	2,483億円（前年同期比	1.5%増）
オセアニア総合飲料事業連結営業利益	216億円（前年同期比	8.4%増）
海外その他総合飲料事業連結売上高	1,083億円（前年同期比	5.7%増）

海外その他総合飲料事業連結営業損失 △31億円（前年同期比 ー）

〈医薬・バイオケミカル事業〉

医薬事業では、協和発酵キリン㈱の国内販売において、抗アレルギー剤「アレロック」及び抗アレルギー点眼剤「パタノール」は、花粉飛散量の減少に加え、「アレロック」についてジェネリック医薬品の浸透が進んだ影響により、売上高が前年を下回りました。主力製品である腎性貧血治療剤「ネスプ」は堅調に推移したほか、その他の主要な医薬品も順調に伸張しましたが、国内医薬品全体の売上高は、4月に実施された薬価基準引下げの影響等により前年を下回りました。医薬品の輸出及び技術収入では、輸出は堅調に推移したものの、技術収入が減少し、売上高は減少しました。海外では、プロストラカン社の主力製品である癌疼痛治療剤「Abstral」等が順調に伸張し、売上高が前年を上回りました。

バイオケミカル事業では、協和発酵バイオ㈱において、国内では、ジェネリック医薬品原薬の販売が伸張するなど堅調であったほか、ヘルスケア領域では、「オルニチン」をはじめとする通信販売事業の売上高が前年を上回りました。また、海外の売上高は、円安の影響もあり、前年を上回りました。

これらの結果、バイオケミカル事業の売上高、営業利益は増加しましたが、医薬事業の売上高、営業利益が減少したことにより、医薬・バイオケミカル事業全体としては、売上高、営業利益ともに減少しました。

医薬・バイオケミカル事業連結売上高	1,575億円（前年同期比	4.6%減）
医薬・バイオケミカル事業連結営業利益	196億円（前年同期比	30.8%減）

〈その他事業〉

小岩井乳業㈱では、主力商品「小岩井 生乳100%ヨーグルト」の顧客接点拡大の活動に注力した結果、販売数量が前年を大幅に上回りました。引き続き原材料価格高騰等の影響を受けましたが、生産・物流コスト削減を進めるなど、費用低減に努めました。

その他事業全体としては、キリン協和フーズ㈱が連結対象外となったこともあり、売上高、営業利益とも減少しました。

その他事業連結売上高	115億円（前年同期比	74.4%減）
その他事業連結営業利益	14億円（前年同期比	25.6%減）

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、商品及び製品、有形固定資産等が増加したものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金等の減少により、前連結会計年度末に比べ1,014億円減少して2兆7,950億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等、未払酒税（流動負債「その他」）の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,098億円減少して1兆4,858億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ84億円増加して1兆3,091億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、各事業の進捗と為替レートの見直しを加味した結果、下記のとおり修正しております。

【平成26年12月期の連結業績予想】

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,290,000	140,000	122,000	49,000	52円7銭
今回修正予想 (B)	2,260,000	140,000	122,000	49,000	53円3銭
増減額 (B - A)	△30,000	—	—	—	—
増減率 (%)	△1.3%	—	—	—	—
前期実績 (平成25年12月期)	2,254,585	142,818	132,134	85,656	90円76銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	113,759	42,679
受取手形及び売掛金	396,113	334,777
商品及び製品	136,494	155,609
仕掛品	34,488	37,730
原材料及び貯蔵品	54,063	49,715
その他	83,729	74,264
貸倒引当金	△3,860	△3,499
流動資産合計	814,788	691,275
固定資産		
有形固定資産	764,378	791,267
無形固定資産		
のれん	649,519	646,589
その他	187,417	184,898
無形固定資産合計	836,936	831,488
投資その他の資産		
投資有価証券	376,155	374,877
その他	109,487	111,377
貸倒引当金	△5,291	△5,282
投資その他の資産合計	480,351	480,973
固定資産合計	2,081,667	2,103,728
資産合計	2,896,456	2,795,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	155,863	142,232
短期借入金	118,410	99,324
コマーシャル・ペーパー	—	12,999
1年内償還予定の社債	30,000	59,998
未払法人税等	28,429	14,482
引当金	7,449	7,015
その他	319,745	262,027
流動負債合計	659,898	598,080
固定負債		
社債	259,454	230,594
長期借入金	383,213	390,230
退職給付引当金	62,461	45,604
訴訟損失引当金	30,711	30,975
その他の引当金	9,296	9,111
その他	190,693	181,254
固定負債合計	935,831	887,772
負債合計	1,595,729	1,485,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	102,045	102,045
資本剰余金	81,417	81,417
利益剰余金	850,511	847,826
自己株式	△53,903	△73,657
株主資本合計	980,071	957,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,506	40,615
繰延ヘッジ損益	128	△314
土地再評価差額金	△2,581	△2,581
為替換算調整勘定	53,737	87,528
その他の包括利益累計額合計	95,790	125,248
新株予約権	306	301
少数株主持分	224,558	225,969
純資産合計	1,300,726	1,309,151
負債純資産合計	2,896,456	2,795,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,096,214	1,056,276
売上原価	629,908	604,555
売上総利益	466,305	451,721
販売費及び一般管理費	405,888	401,469
営業利益	60,416	50,251
営業外収益		
受取利息	2,265	1,694
受取配当金	1,645	1,391
持分法による投資利益	944	2,893
その他	3,911	3,948
営業外収益合計	8,767	9,927
営業外費用		
支払利息	10,824	9,888
その他	2,646	5,182
営業外費用合計	13,470	15,071
経常利益	55,714	45,107
特別利益		
固定資産売却益	15,821	1,076
投資有価証券売却益	46,933	132
その他	732	436
特別利益合計	63,487	1,645
特別損失		
固定資産除却損	1,440	1,322
固定資産売却損	825	320
減損損失	288	—
投資有価証券評価損	1	16
投資有価証券売却損	19	21
事業構造改善費用	3,203	4,102
在外子会社税制特別措置適用支払金	8,822	—
その他	3,684	1,182
特別損失合計	18,285	6,966
税金等調整前四半期純利益	100,915	39,786
法人税等	30,780	18,812
少数株主損益調整前四半期純利益	70,135	20,974
少数株主利益	10,467	6,930
四半期純利益	59,668	14,043

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,135	20,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,815	△3,863
繰延ヘッジ損益	8,807	△442
為替換算調整勘定	142,882	31,463
持分法適用会社に対する持分相当額	17,998	1,007
その他の包括利益合計	148,872	28,165
四半期包括利益	219,008	49,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,150	43,385
少数株主に係る四半期包括利益	15,858	5,753

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	100,915	39,786
減価償却費	49,537	47,187
減損損失	288	—
のれん償却額	24,021	24,279
退職給付信託の設定額	—	△19,000
受取利息及び受取配当金	△3,911	△3,085
持分法による投資損益(△は益)	△944	△2,893
支払利息	10,824	9,888
為替差損益(△は益)	△1,070	220
固定資産売却益	△15,821	△1,076
固定資産除売却損	2,191	1,107
投資有価証券売却益	△46,933	△132
売上債権の増減額(△は増加)	14,940	60,038
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,084	△16,838
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,910	△14,655
未払酒税の増減額(△は減少)	△4,852	△31,059
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,590	△7,513
預り金の増減額(△は減少)	△4,373	△10,791
その他	△6,035	△12,631
小計	98,191	62,829
利息及び配当金の受取額	7,620	7,205
利息の支払額	△8,346	△7,716
法人税等の支払額	△33,409	△25,106
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,055	37,211
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△57,281	△61,477
有形及び無形固定資産の売却による収入	21,231	3,158
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△2,461	△8,153
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	140,692	373
子会社株式の取得による支出	△25,206	△67
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△725	—
その他	3,810	1,396
投資活動によるキャッシュ・フロー	80,058	△64,770

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13,051	22,930
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△47,995	12,999
長期借入れによる収入	13,885	42,955
長期借入金の返済による支出	△40,257	△81,667
社債の償還による支出	△80,000	—
自己株式の取得による支出	△26,132	△19,757
配当金の支払額	△14,903	△16,728
少数株主への配当金の支払額	△3,446	△3,304
その他	△1,360	△711
財務活動によるキャッシュ・フロー	△187,160	△43,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,139	△272
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△35,905	△71,113
現金及び現金同等物の期首残高	78,041	105,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,135	34,358

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年3月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、当該自己株式の公開買付けを実施した結果、普通株式15,996,866株、19,708百万円を取得しました。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合飲料			医薬・バイ オケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	538,695	244,713	102,498	165,171	45,134	—	1,096,214
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,220	48	116	4,535	1,963	△10,886	—
計	542,916	244,762	102,614	169,707	47,098	△10,886	1,096,214
セグメント 利益又は損失(△)	16,983	19,979	△3,628	28,457	1,951	△3,327	60,416

(注) 1 「その他」の区分は、調味料・乳製品などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,327百万円には、セグメント間取引消去1,090百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,417百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生及び変動はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合飲料			医薬・バイ オケミカル			
	日本	オセアニア	海外その他				
売上高							
外部顧客への売上高	530,599	248,301	108,304	157,501	11,570	—	1,056,276
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,564	83	99	4,397	668	△6,814	—
計	532,164	248,384	108,403	161,899	12,239	△6,814	1,056,276
セグメント 利益又は損失(△)	13,909	21,661	△3,150	19,685	1,452	△3,306	50,251

(注) 1 「その他」の区分は、乳製品などの食品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,306百万円には、セグメント間取引消去347百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,654百万円が含まれております。全社費用は、主に純粋持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な発生及び変動はありません。

(追加情報)

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度から復興特別法人税が課されないこととなりました。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(連結納税制度の適用について)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

2014年第2四半期決算 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. 連結貸借対照表サマリー
5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー
6. その他情報

麒麟ホールディングス株式会社
2014年8月6日

1. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2014年 第2四半期 (実績)	2013年 第2四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	10,562	10,962	△399	△3.6%
売上総利益	4,517	4,663	△145	△3.1%
販売費及び一般管理費	4,014	4,058	△44	△1.1%
営業利益	502	604	△101	△16.8%
営業外収益	99	87	11	13.2%
営業外費用	150	134	16	11.9%
経常利益	451	557	△106	△19.0%
特別利益	16	634	△618	△97.4%
特別損失	69	182	△113	△61.9%
税金等調整前四半期純利益	397	1,009	△611	△60.6%
法人税等	188	307	△119	△38.9%
少数株主利益	69	104	△35	△33.8%
四半期純利益	140	596	△456	△76.5%
平準化EBITDA	1,265	1,388	△123	△8.9%
平準化EPS	54円	51円	3円	5.9%
売上高(酒税抜き)	9,200	9,554	△354	△3.7%
営業利益(のれん等償却前)	781	881	△100	△11.4%
営業利益率(対酒税抜き・のれん等償却前)	8.5%	9.2%		

平準化EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法適用関連会社からの受取配当金

平準化EPS = 平準化四半期純利益 / 期中平均株式数

平準化四半期純利益 = 四半期純利益 + のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位：円)

	2014年 第2四半期 (実績)	2013年 第2四半期 (実績)
ライオン(豪ドル)	92.88	91.01
ブラジルキリン(ブラジルリアル)	44.82	46.72

	2014年第2四半期(実績)	2013年第2四半期(実績)
ライオン	2013年10月～2014年3月	2012年10月～2013年3月
サンミゲルビール		

2. 売上高明細

(単位：億円)

	2014年 第2四半期 (実績)	2013年 第2四半期 (実績)	対前年増減	
売上高	10,562	10,962	△399	△3.6%
日本総合飲料	5,305	5,386	△80	△1.5%
キリンビール ※	3,177	3,336	△159	△4.8%
キリンビバレッジ	1,614	1,597	17	1.1%
メルシャン	324	312	12	3.9%
その他・内部取引消去	188	140	48	34.2%
海外総合飲料	3,566	3,472	93	2.7%
ライオン	2,483	2,447	36	1.5%
ブラジルキリン	883	840	43	5.1%
その他・内部取引消去	199	184	14	8.0%
医薬・バイオケミカル	1,575	1,651	△76	△4.6%
協和発酵キリン	1,618	1,697	△78	△4.6%
医薬	1,189	1,292	△102	△7.9%
バイオケミカル	429	405	24	6.0%
その他・内部取引消去	△43	△45	1	—
その他	115	451	△335	△74.4%

※ キリンビールとキリンビールマーケティングの合算値

<参考> 酒税売上高

(単位：億円)

	2014年 第2四半期 (実績)	2013年 第2四半期 (実績)
キリンビール	1,870	1,987

3. 利益増減明細

(1) 営業利益

(単位：億円)

	2014年 第2四半期 (実績)	2013年 第2四半期 (実績)	対前年増減
営業利益	502	604	△101
日本総合飲料	139	169	△30
キリンビール ※	137	168	△30
キリンビバレッジ ※	△39	△37	△2
のれん償却額	△9	△9	—
計	△49	△47	△2
メルシャン ※	△2	0	△3
その他	53	47	5
海外総合飲料	185	163	21
ライオン(連結組替後)	390	370	19
のれん償却額	△153	△150	△3
ブランド償却費	△20	△20	0
計	216	199	16
ブラジルキリン(連結組替後)	2	1	1
のれん償却額	△26	△27	1
ブランド償却費	△15	△16	0
計	△39	△42	3
その他	7	6	1
医薬・バイオケミカル	196	284	△87
協和発酵キリン(連結組替後)	196	284	△87
医薬	141	241	△99
バイオケミカル	42	31	11
その他・のれん償却額消去	43	43	0
のれん償却額	△31	△31	—
その他	14	19	△4
全社費用・セグメント間取引消去	△33	△33	0

※ 持株会社へのマネジメントフィ控除後

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	対前年増減	内容
麒麟ビール	酒類限界利益減	△58	ビール販売数量減 △10千kl △14億 発泡酒販売数量減 △17千kl △18億 新ジャンル販売数量減 △31千kl △34億 RTD販売数量増 15千kl 15億 品種構成による差異 他
	原材料コストダウン	3	麦芽コストアップ △4億、包材コストダウン 7億 他
	販売費増	△3	販売促進費・広告費増 △4億 他 (ビール・発泡酒・新ジャンル △11億、RTD △13億 他)
	その他費用減	28	減価償却費減 15億、人件費 12億 他
計		△30	
麒麟ビバレッジ	数量差異	18	販売数量増 171万ケース
	原材料等コストダウン	0	原料コストアップ △4億、包材コストダウン 8億 他
	容器構成差異等	△29	
	販売費減	9	販売促進費・広告費減 9億
	その他費用	0	マネジメントフィ増 △3億 他
計		△2	

主な営業費用

(単位：億円)

		2014年 第2四半期 (実績)	2013年 第2四半期 (実績)
販売促進費		967	941
広告費		453	447
麒麟ビール	販売促進費	243	245
	広告費	165	159
麒麟ビバレッジ	販売促進費	527	523
	広告費	52	65
研究開発費		263	258
協和発酵キリン(内部取引除く)		214	206

(2) 経常利益、四半期純利益

(単位：億円)

	2014年 第2四半期 (実績)	2013年 第2四半期 (実績)	対前年増減	増減内容
営業外損益	△51	△47	△4	現地持分損益 △13億 他 キリンアムジェン 30億 他
金融収支	△68	△69	1	
持分法による投資損益	28	9	19	
サンミゲルビール	28	44	△15	
その他	0	△34	34	
為替差損益	△7	3	△11	
その他	△5	8	△13	
経常利益	451	557	△106	
特別損益	△53	452	△505	
特別利益	16	634	△618	
固定資産売却益	10	158	△147	
投資有価証券売却益	1	469	△468	
その他	4	7	△2	
特別損失	△69	△182	113	
固定資産除却損	△13	△14	1	
固定資産売却損	△3	△8	5	
減損損失	—	△2	2	
投資有価証券評価損	△0	△0	△0	
投資有価証券売却損	△0	△0	△0	
事業構造改善費用	△41	△32	△8	
在外子会社税制特別措置 適用支払金	—	△88	88	
その他	△11	△36	25	
法人税等	△188	△307	119	
少数株主利益	△69	△104	35	
四半期純利益	140	596	△456	

4. 連結貸借対照表サマリー

(単位：億円)

	2014年 第2四半期末	2013年 期末	増減額	増減内容
流動資産	6,912	8,147	△1,235	・前年度末が休日による減少 他
現金及び預金	426	1,137	△710	
受取手形及び売掛金	3,347	3,961	△613	
棚卸資産	2,430	2,250	180	
その他	707	798	△91	
固定資産	21,037	20,816	220	
有形固定資産	7,912	7,643	268	
無形固定資産	8,314	8,369	△54	
のれん	6,465	6,495	△29	
その他	1,848	1,874	△25	
投資その他の資産	4,809	4,803	6	
資産合計	27,950	28,964	△1,014	
流動負債	5,980	6,598	△618	・前年度末が休日による未払酒税の減少 他
支払手形及び買掛金	1,422	1,558	△136	
有利子負債	1,723	1,484	239	
その他	2,835	3,556	△720	
固定負債	8,877	9,358	△480	
有利子負債	6,208	6,426	△218	
その他	2,669	2,931	△262	
負債合計	14,858	15,957	△1,098	
株主資本	9,576	9,800	△224	・為替変動による為替換算調整勘定の増加 他
その他の包括利益累計額	1,252	957	294	
新株予約権	3	3	△0	
少数株主持分	2,259	2,245	14	
純資産合計	13,091	13,007	84	
負債純資産合計	27,950	28,964	△1,014	

5. 連結キャッシュ・フロー計算書サマリー

(1) キャッシュ・フロー計算書サマリー

(単位：億円)

	2014年 第2四半期 (実績)	2013年 第2四半期 (実績)	対前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	372	640	△268
税金等調整前四半期純利益	397	1,009	△611
減価償却費	471	495	△23
のれん償却額	242	240	2
その他	△740	△1,104	363
投資活動によるキャッシュ・フロー	△647	800	△1,448
設備投資	△614	△572	△41
その他	△32	1,373	△1,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△432	△1,871	1,438
有利子負債の増減額	△27	△1,413	1,385
配当金の支払額	△200	△183	△16
その他	△204	△274	70
換算差額等	△2	71	△74
現金及び現金同等物の増減額	△711	△359	△352

(2) セグメント別情報

2014年第2四半期実績

(単位：億円)

	日本 総合飲料	海外 総合飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	166	186	108	8	1	471
のれん償却額	12	183	46	0	—	242
設備投資	181	232	166	4	29	614
平準化EBITDA	317	603	351	23	△31	1,265

2013年第2四半期実績

(単位：億円)

	日本 総合飲料	海外 総合飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	182	187	99	21	4	495
のれん償却額	13	180	43	3	—	240
設備投資	134	206	229	8	△6	572
平準化EBITDA	365	580	427	44	△28	1,388

6. その他情報

(1) 主要な開示連結会社損益 (連結組替後)
2014年第2四半期実績

<連結子会社>

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
協和発酵キリン	1,618	181	171	93	48
のれん償却額消去		46	46	46	24
のれん償却額		△31	△31	△31	△31
連結取込計	1,618	196	186	108	42

<持分法適用関連会社>

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	連結純利益
サンミゲルビール	908	250	211	142	68
現地持分損益			68	68	68
ブランド償却費			△10	△10	△10
のれん償却額			△30	△30	△30
連結取込計			28	28	28

(2) 主要事業会社 売上明細

① キリンビール

	2014年 第2四半期		2013年 第2四半期	
	実績	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	289	△3.2	299	△3.1
発泡酒	230	△6.9	247	△5.4
新ジャンル	304	△9.2	335	1.0
計	824	△6.5	881	△2.3
RTD	116	15.1	101	5.3
ノンアルコール飲料	13	△26.6	18	△10.6
売上高	億円	%	億円	%
ビール	1,200	△3.1	1,238	△3.1
発泡酒	702	△6.9	754	△5.4
新ジャンル	800	△9.1	880	1.2
計	2,702	△5.9	2,873	△2.4
RTD	323	15.9	278	5.7
洋酒・その他 ※	150	△18.0	184	△23.0
売上高計	3,177	△4.8	3,336	△3.2

上記売上数量は輸出分を除く

※ グループ会社への清涼飲料売上高を含む

② キリンビバレッジグループ

<カテゴリー別販売実績(連結)>

清涼飲料			2014年 第2四半期				2013年 第2四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
カテゴリー別	茶系飲料	日本茶	938	10	9	101	929	10	23	103
		烏龍茶	118	1	△8	94	126	1	△6	95
		紅茶	2,202	24	27	101	2,175	24	99	105
		計	3,258	35	28	101	3,230	35	116	104
		コーヒー飲料	1,421	15	△2	100	1,423	16	△65	96
		果実・野菜飲料	1,152	13	△131	90	1,283	14	256	125
		炭酸飲料	699	8	1	100	698	8	40	106
		水	1,581	17	7	100	1,574	17	△28	98
	その他	1,144	12	268	131	876	10	274	146	
国内市場清涼飲料計			9,255	100	171	102	9,084	100	593	107

<容器別販売実績(連結)>

清涼飲料			2014年 第2四半期				2013年 第2四半期			
			実績	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
容器別	区分	内訳								
缶容器	缶	ボトル缶を含む	1,696	18	△69	96	1,765	19	△182	91
PET容器	大型PET	2L	2,076	23	138	107	1,938	22	134	107
		1.5L、1L、900ml、750ml	769	8	15	102	754	8	77	111
		大型PET計	2,845	31	153	106	2,692	30	211	109
	小型PET	500ml	2,713	29	△83	97	2,796	31	334	114
		350ml以下	1,016	11	156	118	860	9	172	125
		小型PET計	3,729	40	73	102	3,656	40	506	116
	PET計	6,574	71	226	104	6,348	70	717	113	
その他容器		ワンウェイ・リターナブル壺、紙、ギフト 他	985	11	14	101	971	11	58	106
国内市場清涼飲料計			9,255	100	171	102	9,084	100	593	107

2014年通期業績予想 補足説明資料

1. 連結損益計算書サマリー・指標等
2. 売上高明細
3. 利益増減明細
4. セグメント別情報
5. その他情報

麒麟ホールディングス株式会社
2014年8月6日

1. 連結損益計算書サマリー・指標等

(1) 損益計算書サマリー・指標等

(単位：億円)

	2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)	期央対前年増減		2014年 通期 (年初予想)	期央対年初 増減
売上高	22,600	22,545	54	0.2%	22,900	△300
営業利益	1,400	1,428	△28	△2.0%	1,400	—
営業外損益	△180	△106	△73	—	△180	—
金融収支	△149	△142	△7	—	△144	△5
持分法による投資損益	1	16	△14	△89.8%	△30	31
経常利益	1,220	1,321	△101	△7.7%	1,220	—
特別損益	△110	250	△360	△143.9%	△110	—
税金等調整前当期純利益	1,110	1,572	△462	△29.4%	1,110	—
法人税等	478	532	△54	△10.1%	478	△0
少数株主利益	141	182	△41	△22.7%	141	0
当期純利益	490	856	△366	△42.8%	490	—
平準化EBITDA	2,970	3,014	△44	△1.5%	3,020	△50
平準化EPS	131円	122円	9円	7.4%	129円	2円
売上高(酒税抜き)	19,510	19,437	72	0.4%	19,800	△290
営業利益(のれん等償却前)	1,961	1,980	△19	△1.0%	1,954	7
営業利益率(対酒税抜き・のれん等償却前)	10.1%	10.2%			9.9%	
平準化ROE	10.6%	10.9%			10.6%	
純有利子負債/平準化EBITDA	2.33	2.25			2.15	

平準化EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 持分法適用関連会社からの受取配当金

平準化EPS = 平準化当期純利益 / 期中平均株式数

平準化当期純利益 = 当期純利益 + のれん等償却額 ± 税金等調整後特別損益

平準化ROE = 平準化当期純利益 / 平準化期中平均自己資本

(2) 主要在外会社損益の為替換算レート及び取込期間

(単位：円)

	2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)	2014年 通期 (年初予想)
ライオン(豪ドル)	94.00	91.97	93.00
ブラジルキリン(ブラジルリアル)	45.00	45.18	44.00

	2014年通期(期央予想)	2013年通期(実績)
ライオン	2013年10月～2014年9月	2012年10月～2013年9月
サンミゲルビール		

2. 売上高明細

(単位：億円)

	2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)	期央対前年増減		2014年 通期 (年初予想)	期央対年初 増減
売上高	22,600	22,545	54	0.2%	22,900	△300
日本総合飲料	11,890	11,801	88	0.7%	12,100	△210
キリンビール ※	7,143	7,291	△148	△2.0%	7,290	△146
キリンビバレッジ	3,652	3,535	116	3.3%	3,727	△75
メルシャン	706	670	35	5.3%	710	△4
その他・内部取引消去	388	304	84	27.7%	372	16
海外総合飲料	7,200	6,852	347	5.1%	7,300	△100
ライオン	4,735	4,684	50	1.1%	4,735	△0
ブラジルキリン	2,062	1,783	279	15.7%	2,159	△96
その他・内部取引消去	402	384	17	4.6%	404	△2
医薬・バイオケミカル	3,280	3,313	△33	△1.0%	3,260	20
協和発酵キリン	3,370	3,406	△36	△1.1%	3,370	—
医薬	2,510	2,595	△85	△3.3%	2,482	28
バイオケミカル	860	810	49	6.1%	888	△28
その他・内部取引消去	△90	△92	2	—	△110	20
その他	230	577	△347	△60.2%	240	△10

※ キリンビールとキリンビールマーケティングの合算値

<参考> 酒税売上高

(単位：億円)

	2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)	2014年 通期 (年初予想)
キリンビール	4,192	4,304	4,289

3. 利益増減明細

(単位：億円)

	2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)	期央対前年 増減	2014年 通期 (年初予想)	期央対年初 増減
営業利益	1,400	1,428	△28	1,400	—
日本総合飲料	615	621	△6	635	△20
キリンビール ※	509	518	△8	543	△34
キリンビバレッジ ※	31	37	△6	48	△17
のれん償却額	△19	△19	—	△19	—
計	11	17	△6	28	△17
メルシャン ※	12	3	8	12	—
その他	81	81	0	50	31
海外総合飲料	350	306	43	380	△30
ライオン(連結組替後)	619	633	△14	600	19
のれん償却額	△310	△303	△6	△306	△4
ブランド償却費	△41	△42	0	△42	1
計	267	287	△20	251	16
ブラジルキリン(連結組替後)	154	88	66	201	△47
のれん償却額	△53	△53	0	△52	△1
ブランド償却費	△31	△31	0	△30	△0
計	70	3	66	119	△49
その他	12	15	△2	9	2
医薬・バイオケミカル	480	543	△63	440	40
協和発酵キリン(連結組替後)	480	543	△63	440	40
医薬	370	461	△91	330	40
バイオケミカル	80	56	23	80	—
その他・のれん償却額消去	92	87	4	92	—
のれん償却額	△62	△62	—	△62	—
その他	30	37	△7	30	—
全社費用・セグメント間取引消去	△75	△80	5	△85	10

※ 持株会社へのマネジメントフィ控除後

主な営業利益増減内容

(単位：億円)

会社名	要因	(期央予想) 対前年増減	内容
キリンビール	酒類限界利益減	△51	ビール販売数量減 △5千kl △6億 発泡酒販売数量減 △21千kl △22億 新ジャンル販売数量減 △34千kl △38億 RTD販売数量増 34千kl 32億 品種構成による差異 他
	原材料コストダウン	7	包材コストダウン 他
	販売費増	△10	販売促進費・広告費増 △10億 他
	その他費用減	45	減価償却費減 28億、人件費減 25億、 広報費増 △2億、研究開発費増 △3億 他
計		△8	
キリンビバレッジ	数量差異	78	販売数量増 714万ケース
	原材料等コストダウン	6	原料コストアップ △10億、包材コストダウン 10億 PET飲料自製率向上 5億 他
	容器構成差異等	△27	
	販売費増	△44	販売促進費・広告費増 △40億、運搬費増 △4億
	その他費用増	△18	マネジメントフィ増 △6億、情報システム費増 △3億、 研究開発費増 △3億 他
計		△6	

主な営業費用

(単位：億円)

		2014年 通期 (期央予想)	2013年 通期 (実績)
キリンビール	販売促進費	818	540
	広告費		268
キリンビバレッジ	販売促進費	1,301	1,159
	広告費		101

4. セグメント別情報

2014年通期予想

(単位：億円)

	日本 総合飲料	海外 総合飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	366	372	229	17	4	990
のれん償却額	25	371	92	0	—	489
設備投資	345	525	370	5	5	1,250
平準化EBITDA	1,006	1,184	801	47	△70	2,970

2013年通期実績

(単位：億円)

	日本 総合飲料	海外 総合飲料	医薬・バイ オケミカル	その他	調整額	合計
減価償却費 (ブランド償却費含む)	381	376	215	31	6	1,011
のれん償却額	25	363	87	3	—	479
設備投資	234	554	344	9	31	1,173
平準化EBITDA	1,027	1,143	846	71	△73	3,014

5. その他情報

(1) 主要のれん等償却情報

2014年通期予想

(単位：億円)

	取得年	のれん等償却額合計 ①+②						合計	
		のれん			ブランド				
		償却額①	未償却 残高	残年数	償却額② ※	未償却 残高	残年数		
連結子会社	ライオン	1998~ 2012	310	3,746	12	41	377	1~18	351
	キリンビバレッジ	2006	19	230	12	—	—	—	19
	協和発酵キリン	2007	62	823	14	—	—	—	62
	ブラジルキリン	2011	53	907	17	31	533	17	84
	その他		42	—	—	—	—	—	42
	連結子会社計		489			72			561
持分法	サンミゲルビール	2009	60	875	15	19	285	15	79
	華潤麒麟飲料	2011	23	396	17	—	—	—	23
	持分法適用関連会社計		83			19			103
	合計		572			92			664

※ 科目：減価償却費

(2) 主要事業会社 売上明細

① キリンビール

	2014年 通期		2013年 通期	
	予想	対前年増減	実績	対前年増減
売上数量	千KL	%	千KL	%
ビール	667	△0.7	672	△3.8
発泡酒	501	△3.9	522	△6.9
新ジャンル	680	△4.7	714	0.0
計	1,850	△3.1	1,909	△3.3
RTD	261	15.1	227	8.6
ノンアルコール飲料	27	△27.9	38	△14.6
売上高	億円	%	億円	%
ビール	2,783	△0.4	2,796	△3.7
発泡酒	1,526	△4.2	1,592	△6.9
新ジャンル	1,787	△4.7	1,876	0.2
計	6,097	△2.7	6,265	△3.4
RTD	722	15.1	627	10.1
洋酒・その他 ※	323	△19.0	398	△14.4
売上高計	7,143	△2.0	7,291	△3.1

上記売上数量は輸出分を除く

※ 2013年については、グループ会社への清涼飲料売上高を含む

② キリンビバレッジグループ

<カテゴリー別販売実績(連結)>

清涼飲料			2014年 通期				2013年 通期			
			予想	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
カテゴリー別	茶系飲料	日本茶	2,200	11	112	105	2,088	10	92	105
		烏龍茶	250	1	△18	93	268	1	△15	95
		紅茶	4,800	23	74	102	4,726	24	88	102
		計	7,250	35	168	102	7,082	35	165	102
	コーヒー飲料	3,000	14	17	101	2,983	15	△45	99	
	果実・野菜飲料	2,550	12	14	101	2,536	13	209	109	
	炭酸飲料	1,650	8	△6	100	1,656	8	165	111	
	水	3,800	18	383	111	3,417	17	△41	99	
その他	2,620	13	138	106	2,482	12	748	143		
国内市場清涼飲料計			20,870	100	714	104	20,156	100	1,201	106

<容器別販売実績(連結)>

清涼飲料			2014年 通期				2013年 通期			
			予想	構成比	対前年増減	前年比	実績	構成比	対前年増減	前年比
			万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
容器別	区分	内訳	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%	万ケース	%
缶容器	缶	ボトル缶を含む	3,700	18	29	101	3,671	18	△249	94
PET容器	大型PET	2L	4,900	24	543	112	4,357	22	470	112
		1.5L、1L、 900ml、750ml	1,700	8	18	101	1,682	8	138	109
		大型PET計	6,600	32	561	109	6,039	30	608	111
	小型PET	500ml	6,300	30	24	100	6,276	31	422	107
		350ml以下	2,100	10	113	106	1,987	10	387	124
		小型PET計	8,400	40	137	102	8,263	41	809	111
PET計	15,000	72	698	105	14,302	71	1,417	111		
その他容器	ワンウェイ・リターナブル壺、 紙、ギフト 他	2,170	10	△13	99	2,183	11	33	102	
国内市場清涼飲料計			20,870	100	714	104	20,156	100	1,201	106